

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----------------------------|--|----|-------|----------|-----------|---------------|---|---|-------|---|---|
| 授業 科目 | CT2J64 | 1単位 | 選択 | 演習 | 2年生前期 | 担当 教員 | 専任講師 佐藤高博 | | | | | | |
| | 保育実習指導Ⅲ | | | | | | | | | | | | |
| 授業の概要 | ① 保育実習Ⅲに関わる事前および事後指導を行う。 ② 実習前は施設の目的や機能、利用児・者、保育士に求められる専門性や職業倫理について学び、施設実習のあり方について理解していく。 ③ 記録の方法や支援計画については、実際に授業内で作成することを通して身につけていく。 ④ 実習終了後は、実習中の体験の振り返りを通して自己評価を行い、今後の課題について考察する。 | | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | | | | | 学習成果Ⅰ | | | 学習成果Ⅱ | | | 学習成果Ⅲ | | |
| | | | | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ |
| 1. 保育実習Ⅲの意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶ。 | | | | | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2. 実習や既習の教科の内容やその関連性をふまえ、保育実践力を培う。 | | | | | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○ |
| 3. 保育の観察、記録および自己評価等をふまえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ。 | | | | | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 4. 保育士の専門性と職業倫理について理解する。 | | | | | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ |
| 5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。 | | | | | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ |
| 凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はVページ参照 | | | | | | | | | | | | | |
| | 主 題 | 準備学習 | 本時の学習内容と到達目標 | | | | | 復 習 | | | | | |
| 1 | 保育実習Ⅲの目標と内容 | 『パーフェクトガイド』p8～17を読んでおく。 | 保育実習指導Ⅲの進め方と概要、評価方法について理解する。 保育実習Ⅲの目標と内容について理解する。 | | | | | 学んだことをまとめておく。 | | | | | |
| 2 | 実習施設の理解 | 実習先の概要について調べてくる。 | 調べてきたことを発表する。 | | | | | 学んだことをまとめておく。 | | | | | |
| 3 | 施設利用児・者の理解(1) | 事前にプリントを配布するの で読んでおくこと。 | アセスメントの流れについて理解する。 子どもの状態像の把握について理解する。 | | | | | 学んだことをまとめておく。 | | | | | |
| 4 | 施設利用児・者の理解(2) | 事前にプリントを配布するの で読んでおくこと。 | 子どもの背景にある情報の把握について理解する。 | | | | | 学んだことをまとめておく。 | | | | | |
| 5 | 観察と記録(1) | 事前にプリントを配布するの で読んでおくこと。 | 子どもの観察と記録について理解する。 | | | | | 学んだことをまとめておく。 | | | | | |
| 6 | 観察と記録(2) | 事前にプリントを配布するの で読んでおくこと。 | エピソード記録の書き方について理解する。 プロセスレコードについて理解する。 | | | | | 学んだことをまとめておく。 | | | | | |
| 7 | 情報の整理(1) | 事前にプリントを配布するの で読んでおくこと。 | 成育歴・家族状況の情報収集について理解する。 | | | | | 学んだことをまとめておく。 | | | | | |
| 8 | 情報の整理(2) | 事前にプリントを配布するの で読んでおくこと。 | 情報の整理・分析について理解する。 | | | | | 学んだことをまとめておく。 | | | | | |

| | | | | |
|-----------------------------------|---|--|---|--|
| 9 | 支援計画の作成(1) | 事前にプリントを配布するの で読んでおくこと。 | 自立支援計画、個別支援計画を作成する視点や流れにつ いて理解する。 支援の目標が立てられるようになる。 | 学んだことをまとめておく。 |
| 10 | 支援計画の作成(2) | 『パーフェクトガイド』p102 ～111を読んでおく。 | 部分実習・責任実習・レクリエーションと指導計画案の 立て方について理解する。 | 学んだことをまとめておく。 |
| 11 | 施設における相談援助 | 事前に配布した事例を読んで おく。 | 相談援助の流れ、記録、計画について、事例を通じて理 解する。 | 学んだことをまとめておく。 |
| 12 | オリエンテーション | 必要な書類、身だしなみを整 え、当日の予定と心構えを確 認しておく。 『パーフェクトガイド』p48～ 58を読んでおく。 | 事前訪問の目的を明確にし、確認事項について各自まと める。 実習の流れを確認し、必要なマナーと守るべきルール、 提出物の確認をする。 | 当日の午後は実習先でのオリエン テーションとなる。 実習先でのオリエンテーショ ンは、実習の1日目と考え、必要なマ ナーおよびルールを確認するこ と。 |
| 13 | 実習計画の作成 | 『パーフェクトガイド』p44～ 47、60～63、64～65、112～115 を読んでおく。 | 実習計画を考える。 10日間の目標を考える。 | 実習計画、10日間の目標を完成さ せておく。 |
| 14 | 実習におけるトラブルシ ューティング | 『パーフェクトガイド』p112 ～122を読んでおく。 | トラブル例から実習を通して必要な心構えについて考 察する。 | 今までの授業の内容を振り返り、 実習に臨む準備をしておく。 |
| 15 | 自己評価と今後の課題 | 『パーフェクトガイド』p124 ～131を読んでおく。 | 実習報告書を作成する。 保育実習Ⅲの反省と自己評価をする。 | 授業を振り返る。 |
| 成績 評価 | 授業への取り組み(30%) 課題・書類等の提出(40%) 手引き・事後学習への取り組み(30%) 合計 100% | | | |
| 教員 から の コ メ ン ト | ① 保育実習Ⅰ(施設)より実践的な内容を身につけることを目標とし、より充実した実習となるように準備を進めてください。 ② 相談援助や社会的養護など関連する科目についてもしっかりと学び、施設における支援の考え方や技術について身につけてください。 ③ 課題提出があります。期限を守って提出してください。 ④ 授業の際は、保育実習指導Ⅰ(施設)で使用する『施設実習パーフェクトガイド』も持参するようにしてください。 | | | |
| 教科 書 | 書名 実習エピソードでつづる 子どもや障害がある人の心の世界 著者 小竹利夫 発行所 川島書店 | 推薦 図書 | 書名 授業の中で随時紹介する 著者 発行所 | |
| 教科 書 | 書名 施設実習パーフェクトガイド 著者 守巧・小櫃智子・二宮祐子・佐藤恵 発行所 わかば社 | | | |